

一般質問

● 3月議会で18人の議員が市政全般について質問しました。 ●

農業政策の改革に於ける 今後の推進について

辻議員 農林水産行政について

農業所得安定対策大綱の推進について

国は、食料・農業・農林基本計画において、平成19年産の米・麦・大豆・てん菜・でんぷん原料用ばれいしょを対象作物として、品目横断的経営安定対策を導入することが明記されているところであるが、大村市においては中山間地が多く、昔の様に米作り主体の経営から、施設園芸等を取り入れた複合経営、又、兼業農家が大部分と言ってよい状況の中で、どの様に推進をしようとしているのか？麦作については、どの様な対応を考えているのかお伺いいたします。

郡川河川整備計画については、文化財の調査をしなくてはならないと聞いているところですが、それにより工事着工が遅

れるのかどうか、又、整備計画の現在の進捗状況を併せてお伺いいたします。

市長 関係機関で組織した大村市経営所得安定対策推進会議

で検討し、対策の内容をすべての農家に周知徹底を図ることとした。集落代表である実行組合長、認定農業者、生産部会の役員等を対象とした説明会を現在実施しているところである。麦作農家についても集落説明会と平行して説明会を行い、早急に対応を検討するようにしている。いずれにしても認定農業者、集落営農組織の育成が極めて大切な課題であるので力を入れて推進していきたい。

平成18年度工事着工の予定であったが、黒丸遺跡の調査が必要となり19年度以降にずれ込むことになった。現在県、市の教育委員会と協議中で18年度に調査を申込み、その結果次第により調査完了箇所から順次着工の予定である。また、現在川床の

掘り下げ等による地下水の影響調査を行っており、堰の設計を含め、実施設計に基づく地元説明を10月以降に開催する予定である。事業期間は30年となっているが、県に対し期間の短縮を強く要望していきたい。

都市整備部長 地元説明会の折にはご理解をいただけるような十分な説明を行い、お互い納得した上で工事着手となるよう要望したい。

(その他の質問事項)

・市民環境行政について
野田町のタイヤリサイクル工場の今後の対応について。

明るく楽しい市民生活のための

市政発展をめざして！

恒石議員 (1)総務文教行政について

国道444号荒瀬工区の防犯灯は2箇所の予定だが、様々な事件が多発している今日それで十分なのか。地区の意見はよく聞いたのか。

三城城跡について2年位で国指定という事であったがその後経過は。新幹線のルートの問題で遅れていると聞くがルートは決まっているのではないか。その上で駅用地も6億をかけ先

行取得したのではないか。三城の土地も約3億かけており、緊縮財政には見えないがどのような考えか。

(2)企画行政について

県営バスの補助金について、昨年は一部撤退し貸切でやるという事でその助成金が委員会に出て来たと思うがその助成金は使われていない。昨年度は8100万位で今年度1億1700万と、何故前回は撤退しても増額を断つたのに今回3500万を超える増額を呑んだのか。

バス停までの自転車通学生のための駐輪場設置について今後の取組み方をどう考えるのか。

総務部長

(1) 防犯灯専用の電柱を立てると地元負担が5万〜8万になる。そのような問題も勘案し、工事終了後電柱の移設が終わり次第地元と協議したい。

市長

三城城の国指定と新幹線着工はどちらも最重要課題である。従って三城の地元説明会等については新幹線着工に一定の方向が見えるまで推移を見守らざるを得ないと考えている。

(2) 児童やお年寄りの足の確保の為当面は引き続き補助を行わざるを得ないが、今後も費用対効果を勘案しながら一部の路線廃止を含めた減便や代替手段導入など、効率的な運行ができるような方法で生活路線を確保で